

大学・研究所名：シンガポール国立大学 がん科学研究所

(Cancer Science Institute of Singapore(CSI), National University of Singapore)

部署責任者名：須田 年生 (Professor, Cancer Science Institute of Singapore)

URL : <http://www.csi.nus.edu.sg/ws/team/pi/toshio-suda>

本学窓口教室主任： 免疫学教室 田村 智彦 教授

(1) 教室の特色・研究テーマ

シンガポールと日本は、6時間余りのフライトですが、時差が1時間しかないので、移動は比較的楽です。チャンギ空港に着陸するとき、シンガポールの摩天楼が見えてきます。熱帯に突然、ニューヨークという感じで、トップに舟型のプールのあるマリナベイサンズなどは今やランドマークで、歴史的に地震がない国ならではの建物です。シンガポール国立大学(NUS)は、既にアジアトップの大学として有名になっています。今までも、神奈川県からの支援を受けて、窪田学長をはじめとする研究チームとシンガポールで Joint Symposiumを開催し、2年間に計4人の横浜市大学生が研修しています。

NUSの当研究室では、造血を中心に、幹細胞・白血病の研究をしています。研究室は、シンガポール・インド・イギリス・日本人から構成されます。

(2) 実習計画

ゲノム研究、イメージング、骨髄移植など動物実験などがベースです。また、抄読会、輪読会への参加も必須です。

(3) 学生に対する要望

NUS は、海外からの研究者が多く、外国人受け入れになれていますし、私自身、横浜市大(医)の出身なので、後輩が来ることを楽しみにしています。時差がなく、食べ物には多様性があり、きわめて安全です。実験・研究を通して、生物・医学研究の夢を話しましょう。NUS がいかに教育・研究に力を入れているかも見たいと思います。なんでも、e-mail で気楽に聞いてください。 sudato@z3.keio.jp

(4) 受入れ可能人数

2名、積極性のある人を望みます。研修目標は、自分で学べるようになること、自立と自律です。